

はまぎん高格付国債ファンド(為替ヘッジ70) 〈愛称 オールラウンダー〉

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第72期（決算日2018年12月3日） 第73期（決算日2019年1月4日） 第74期（決算日2019年2月1日）
第75期（決算日2019年3月1日） 第76期（決算日2019年4月1日） 第77期（決算日2019年5月7日）

作成対象期間（2018年11月2日～2019年5月7日）

第77期末（2019年5月7日）

| | |
|------------|--------|
| 基準価額 | 8,864円 |
| 純資産総額 | 217百万円 |
| 第72期～第77期 | |
| 騰落率 | 2.0% |
| 分配金（税込み）合計 | 120円 |

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「はまぎん高格付国債ファンド（為替ヘッジ70）」は、2019年5月7日に第77期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界の高格付国の国債を中心に、中長期的ソブリン債券に実質的に投資を行なうとともに、原則として、純資産総額の70%を目標として対円での為替ヘッジを行なうことにより、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

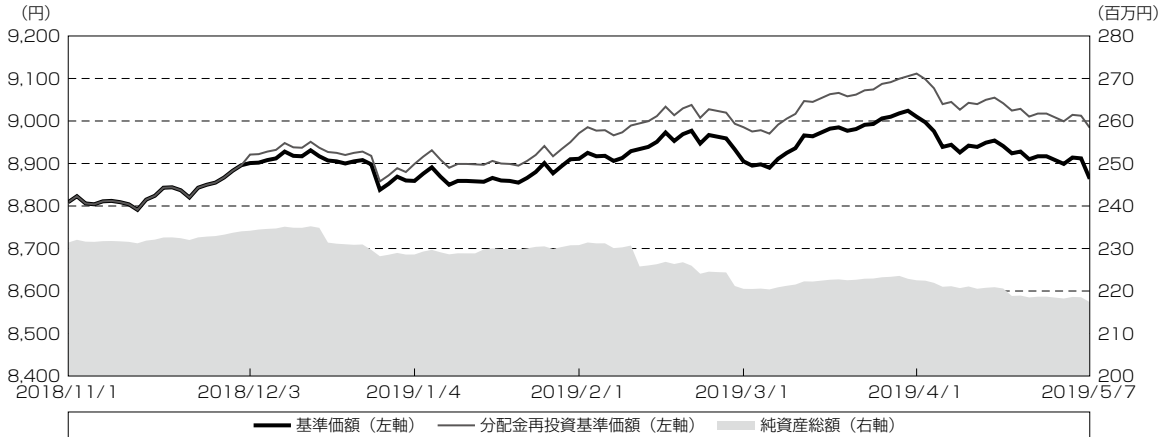
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年11月2日～2019年5月7日）



第72期首：8,809円
 第77期末：8,864円（既払分配金（税込み）：120円）
 騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年11月1日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の高格付国の国債を中心に、中長期のソブリン債券に実質的に投資を行なうとともに、原則として、純資産総額の70%を目標として対円での為替ヘッジを行なうことにより、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・投資対象国のノルウェー、カナダ、オーストラリアの国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・ノルウェークローネ、カナダドル、オーストラリアドルが円に対して下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

（2018年11月2日～2019年5月7日）

| 項 目 | 第72期～第77期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-----------|------------|-------------------------------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 31 | % 0.349 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (15) | (0.166) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (15) | (0.166) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価 |
| （受託会社） | (1) | (0.017) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 13 | 0.141 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (8) | (0.089) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （印刷費用） | (4) | (0.049) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 44 | 0.490 | |
| 作成期間の平均基準価額は、8,922円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

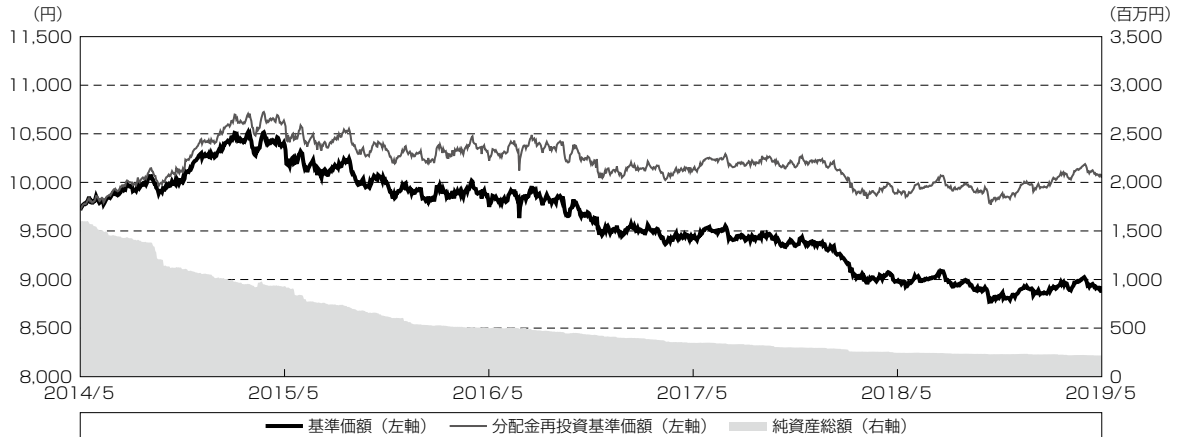
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年5月1日～2019年5月7日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年5月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2014年5月1日 決算日 | 2015年5月1日 決算日 | 2016年5月2日 決算日 | 2017年5月1日 決算日 | 2018年5月1日 決算日 | 2019年5月7日 決算日 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 9,715 | 10,331 | 9,748 | 9,435 | 8,990 | 8,864 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 240 | 240 | 240 | 240 | 240 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 8.9 | △3.4 | △0.8 | △2.2 | 1.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,596 | 927 | 497 | 348 | 245 | 217 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2018年11月2日～2019年5月7日）

（債券市況）

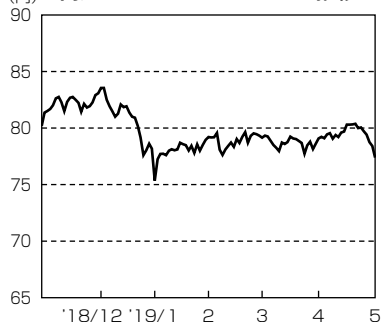
期間中、投資対象とするノルウェー、カナダ、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

期間の初めから2018年12月下旬にかけては、欧州圏の景況感指数が市場予想を下回ったことや、カナダの中央銀行が今後の利上げペースについて慎重な姿勢を示したこと、米国景気の減速懸念などから米国長期金利が低下したことなどを受けて、ノルウェー、カナダ、オーストラリアの10年国債利回りは低下しました。2019年1月上旬から3月下旬にかけては、カナダの中央銀行が政策金利を据え置くとともに、その後の声明で今後の利上げ時期についての不透明感の高まりを指摘したことや、オーストラリア準備銀行（RBA）総裁が、今後の政策金利見通しについて、これまでの金融引き締めスタンスから中立に転換したこと、欧米の景況感指数を受けて世界的な景気への減速懸念が高まったことなどから、ノルウェー、カナダ、オーストラリアの10年国債利回りは低下しました。4月上旬から期間末にかけては、ノルウェーの消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことや、底堅い内容の米国や中国の経済指標を受けて世界的な景気減速懸念が緩和したことなどを背景に、ノルウェー、カナダ、オーストラリアの10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。

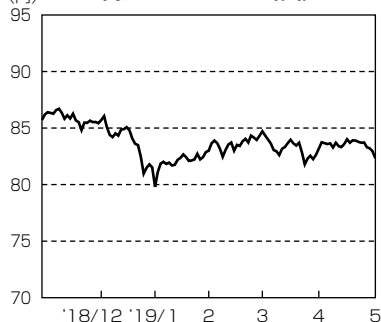
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

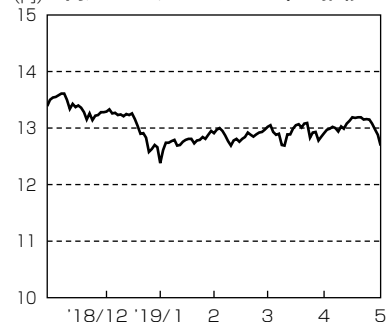
（円） 円／オーストラリアドルの推移



（円） 円／カナダドルの推移



（円） 円／ノルウェークローネの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2018年11月2日～2019年5月7日)

(当ファンド)

当ファンドは、「世界国債マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(世界国債マザーファンド)

世界各国の長期債利回り、短期金利の水準、投資可能な銘柄やその流動性を考慮してポートフォリオを構築しました。

為替ヘッジあり部分の70%、為替ヘッジなし部分の30%の両方について、期間を通じてカナダ、ノルウェー、オーストラリアを投資対象としました。期間中、長期金利の水準に合わせて各通貨の投資比率の調整を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年11月2日～2019年5月7日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年11月2日～2019年5月7日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|-----------|---------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 2018年11月2日 ～2018年12月3日 | 2018年12月4日 ～2019年1月4日 | 2019年1月5日 ～2019年2月1日 | 2019年2月2日 ～2019年3月1日 | 2019年3月2日 ～2019年4月1日 | 2019年4月2日 ～2019年5月7日 |
| 当期分配金 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| (対基準価額比率) | 0.224% | 0.225% | 0.224% | 0.224% | 0.221% | 0.225% |
| 当期の収益 | 14 | 9 | 11 | 9 | 13 | 9 |
| 当期の収益以外 | 5 | 10 | 8 | 10 | 6 | 10 |
| 翌期繰越分配対象額 | 329 | 318 | 310 | 299 | 292 | 281 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界国債マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（世界国債マザーファンド）

為替ヘッジなし部分と為替ヘッジあり部分ごとに、世界各国の長期債利回り、短期金利の水準を考慮して、組入国および債券の投資比率を決定する方針です。引き続きポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度を維持することを検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2018年11月2日から2019年5月7日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

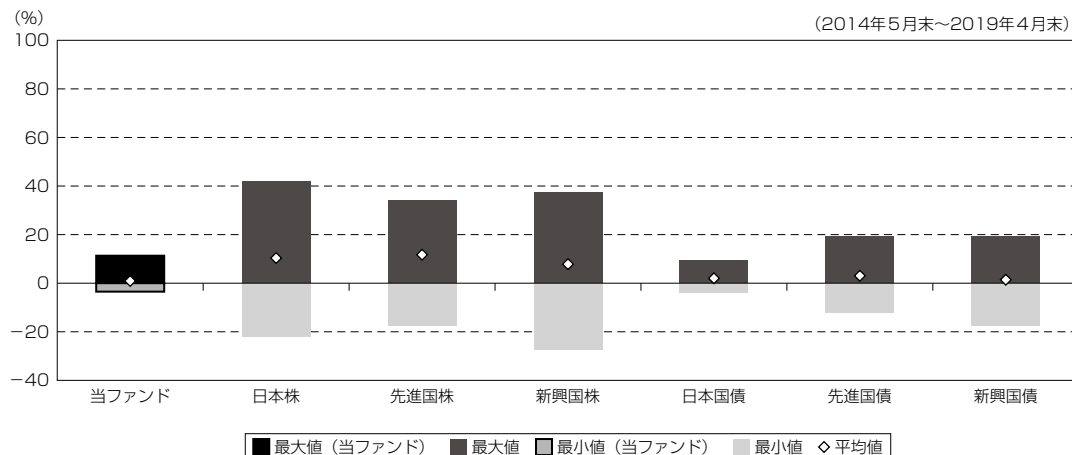
当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年2月2日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（第58条、第58条の2）

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／債券 | |
| 信託期間 | 2012年12月10日から2022年11月1日までです。 | |
| 運用方針 | 主として「世界国債マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | はまぎん高格付国債ファンド （為替ヘッジ70） | 「世界国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 世界国債マザーファンド | 世界の中長期ソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、世界の高格付け国の国債を中心に、中長期ソブリン債券に投資し、インカム収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行ないます。原則として、信託財産の純資産総額の70%に相当する部分为目标として対円での為替ヘッジを行ないます。ポートフォリオの構築にあたっては、利回りの水準、信用力、流動性などに加えて、対円で為替ヘッジを行なう部分については為替ヘッジコストも考慮した上で、組入国やその配分比率を決定します。なお、対円で為替ヘッジを行なう部分については、海外のソブリン債券への投資に替えて日本の国債へ投資する場合があります。 | |
| 分配方針 | 第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 11.3 | 41.9 | 34.1 | 37.2 | 9.3 | 19.3 | 19.3 |
| 最小値 | △ 3.5 | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |
| 平均値 | 0.9 | 10.4 | 11.7 | 7.8 | 2.0 | 3.1 | 1.4 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●**東証株価指数 (TOPIX、配当込)** は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)** は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)** は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年5月7日現在)

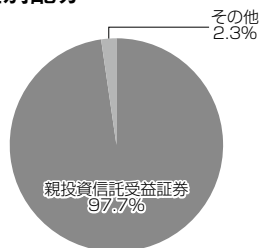
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第77期末 |
|-------------|-------|
| | % |
| 世界国債マザーファンド | 97.7 |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

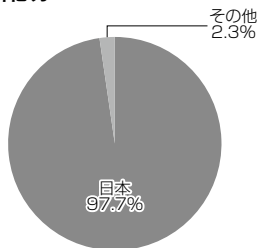
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

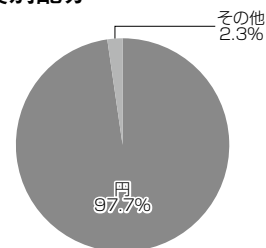
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

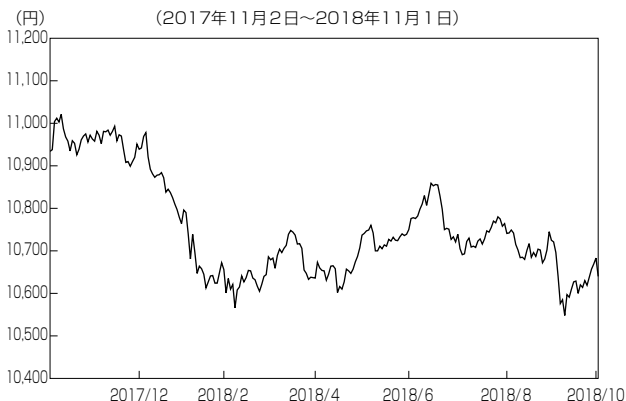
| 項目 | 第72期末 | 第73期末 | 第74期末 | 第75期末 | 第76期末 | 第77期末 |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 2018年12月3日 | 2019年1月4日 | 2019年2月1日 | 2019年3月1日 | 2019年4月1日 | 2019年5月7日 |
| 純資産総額 | 234,178,184円 | 228,589,532円 | 230,796,290円 | 220,510,901円 | 222,519,559円 | 217,382,847円 |
| 受益権総口数 | 263,084,001口 | 258,028,164口 | 258,987,141口 | 247,613,941口 | 246,967,401口 | 245,241,363口 |
| 1万口当たり基準価額 | 8,901円 | 8,859円 | 8,911円 | 8,905円 | 9,010円 | 8,864円 |

(注) 当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は3,290,932円、同解約元本額は20,747,288円です。

組入上位ファンドの概要

世界国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月2日～2018年11月1日)

| 項 目 | 期 | |
|---------------|-------|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) そ の 他 費 用 | 25 | 0.236 |
| (保 管 費 用) | (25) | (0.236) |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) |
| 合 計 | 25 | 0.236 |

期中の平均基準価額は、10,747円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年11月1日現在)

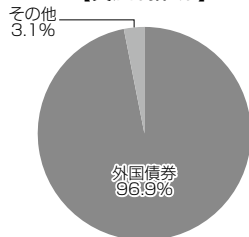
| | 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|----|---------------------------------------|--------|-----------|---------|------|
| | | | | | % |
| 1 | NORWEGIAN GOVERNMENT 1.5% 2026/2/19 | 国債証券 | ノルウェークローネ | ノルウェー | 18.9 |
| 2 | AUSTRALIAN GOVERNMENT 2.25% 2028/5/21 | 国債証券 | オーストラリアドル | オーストラリア | 18.9 |
| 3 | AUSTRALIAN GOVERNMENT 4.75% 2027/4/21 | 国債証券 | オーストラリアドル | オーストラリア | 14.1 |
| 4 | NORWEGIAN GOVERNMENT 2% 2028/4/26 | 国債証券 | ノルウェークローネ | ノルウェー | 13.1 |
| 5 | CANADIAN GOVERNMENT 1% 2027/6/1 | 国債証券 | カナダドル | カナダ | 11.8 |
| 6 | NORWEGIAN GOVERNMENT 1.75% 2027/2/17 | 国債証券 | ノルウェークローネ | ノルウェー | 11.4 |
| 7 | CANADIAN GOVERNMENT 2% 2028/6/1 | 国債証券 | カナダドル | カナダ | 8.0 |
| 8 | CANADIAN GOVERNMENT 1.5% 2026/6/1 | 国債証券 | カナダドル | カナダ | 0.7 |
| 9 | — | — | — | — | — |
| 10 | — | — | — | — | — |
| | 組入銘柄数 | | | 8銘柄 | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

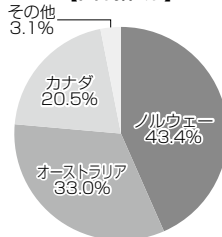
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

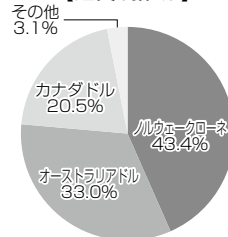
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。